ユーザーズガイド

L227WT
L227WTG
L227WTP

本製品をご使用になる前に、必ず『使用上の注意』をお読みください。ユーザーズガイド(CD)は、いつでも参照できる場所に保管してください。

製品に添付されているラベルの記載を確認し、サービスを受ける際には記載内容を販売店にご提示ください。

LG

本製品は、お客様の安全を第一に考えて設計し製造されておりますが、間違った使い方をすると感電したり火災を発生させる危険性があります。
安全のため、以下設置、使用、サービスについての基本的な注意事項を必ず守ってください。

使用上の注意

電源コードは、必ず本製品付属のものを使用してください。別の電源コードを使用する場合は、販売店に問い合わせるか、または国内基準を満たしている製品であるかを確認してください。電源コードに不具合がある場合は、メーカーまたは最寄のサービスセンターに連絡し、交換してください。

本機器は電源プラグを遮断装置として使用しております。設置した後、コンセントの抜き差しが問題なくできるかどうかを確認してください。

本ディスプレイを使用するに当たっては、この取扱説明書の仕様に記載されている電源、またはディスプレイに記載されている電源を使用してください。使用している電源のタイプがわからない場合は、販売店にお問合せください。

一つのコンセントにその容量を超える数の電気製品を接続すると危険です。
また、傷んだコードや破損したプラグも危険です。このような電源コードは感電や火災を起こす危険性があるので、提供されている「修理に関するご案内」カード に掲載されているサービスセンターに連絡し、交換してください。

ディスプレイは絶対に分解しないでください。
- ディスプレイの内部には手を触れないでください。
- ディスプレイの内部には、電源を切っているときでも危険な高電圧が流れています。
- ディスプレイが正常に動作しない場合は、販売店に連絡してください。

事故防止のために、以下の注意事項を守ってください。
- しっかりと固定できる場合を除き、ディスプレイは平らな場所に設置しください。
- スタンドは必ずメーカーが推奨するものをお使いください。
- 製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えたりしないでください。画面に物を投げないでください。怪我、故障、破損の原因になります。

火災その他の危険を防ぐために、以下の注意事項を守ってください。
- ディスプレイを使用している部屋をしばらく空ける場合には、必ずディスプレイの電源を切ってください。決してディスプレイの電源をオンにしたまま留守にしないでください。
- ディスプレイのキャビネットの孔から中に物を落としたり押し込んだりしないでください。内部には危険な高電圧が流れている部品があります。
- このディスプレイ用に設計されている部品以外は使わないでください。
- 長期間にわたってディスプレイを使用せずに放置する場合は、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- 雷が鳴っていたり稲妻が光っている間は、電源コードや信号ケーブルには、 絶対に触れないでください。感電する可能性があり、非常に危険です。

設置上の注意

電源コードの上に物を置いたり、電源コードを踏んだりしないようにしてください。また、電源コードが破損しやすい場所にはディスプレイを設置しないでください。

浴室、洗面所、台所の流し、洗濯機のそば、プールのそばなど、湿気の多い場所ではディスプレイを使用しないでください。
ディスプレイのキャビネットには通風孔があり、使用中に発生した熱を逃がすように設計されています。この通風孔をふさぐと、熱がたまって故障したり、火災の原因となる危険性があります。以下の注意事項は必ずお守りください。

■ ディスプレイをベッドやソファー、カーペットなどの上に置いて、下部の通風孔をふさがないでください。
■ 適切な通風が確保できないビルトインタイプのラックには、ディスプレイを置かないでください。
■ 布などで通風孔を覆ったりしないでください。
■ 暖房器具や熱源の上または近くには、ディスプレイを置かないでください。

アクティブマトリックスLCDを堅い物で拭いたり、叩いたりしないでください。
アクティブマトリックスLCDに傷が付いたり、破損したりする場合があります。

LCD画面に指を強く押し付けたりしないでください。残像が生じる原因になる場合があります。

画面に赤色、緑色、または青色の点が表示される場合があります。これは、ドットの
欠陥によるもので、製品の性能には影響しません。

推奨する解像度をご使用になると、LCD画面は最高の画質が得られます。推奨する解像度以外をご使用になると、画像の大きさなどが調整されて表示される場合があります。これは、固定解像度のLCDパネルが持つ特性によるものです。

お手入れのしかた

■ パネル面の汚れを取るときは、ディスプレイの電源コードを抜いてください。
■ ディスプレイを拭くときは、軽く湿らせた(十分に水気を切った)布で拭いてください。スプレー式の洗浄液を直接パネル面に吹きかけたりしないでください。液をかけすぎると、感電する可能性があります。

再梱包

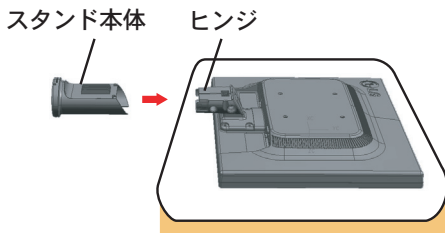
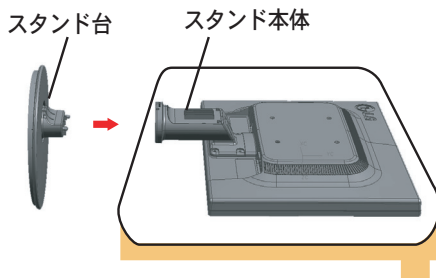
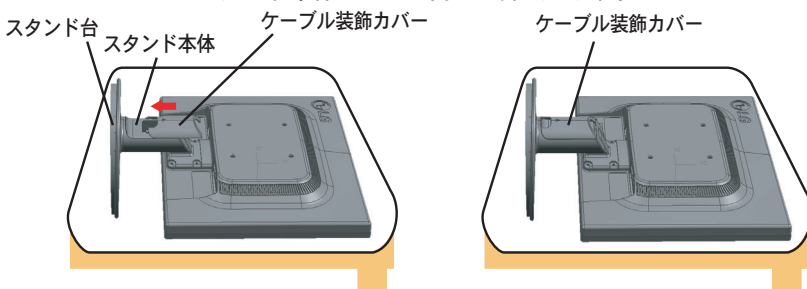
■ 外箱と梱包材は、ディスプレイを輸送するときに必要になりますので、捨てないでください。ディスプレイを別の場所へ輸送するときには、購入時の外箱と梱包材を使用して梱包しなおしてください。

安全に廃棄するために

■ 本製品で使用されている蛍光ランプには、少量の水銀が含まれています。
■ 本製品を一般の家庭ゴミといっしょに廃棄しないでください。
本製品の廃棄は、お住まいの地域の法令に従って行ってください。

■ ディスプレイを設置する前に、ディスプレイ、コンピューター、および その他の付属装置の電源がオフになっていることを確認して下さい。

スタンドベースの取付

1. ディスプレイの前面をクッションなどの柔らかい布の上に載せます。
2. 次の図に示すように、正しい向きでスタンド本体を製品に取り付けます。

3. スタンド台を正しい向きでスタンド本体に取り付けます。

4. ケーブルカバーをスタンド本体へ正しい向きで挿入します。

5. 取り付けたら、注意しながらディスプレイを持ち上げて表側を正面にします。

重要

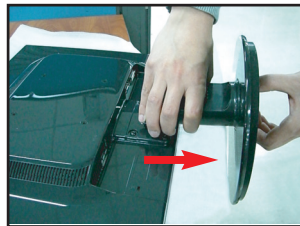
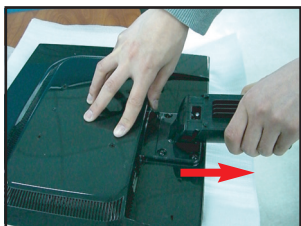
■ この図は、接続の一般的なモデルを表しています。ご使用のディスプレイは、この図と異なる場合があります。
■ 持ち運ぶ際には、ディスプレイを上下逆にしてスタンドベースだけを持って運ばないようにして下さい。ディスプレイが落下して破損したり、足を痛めたりする場合があります。

スタンドの分解

1. 平面の上にクッションまたは柔らかい布を置きます。

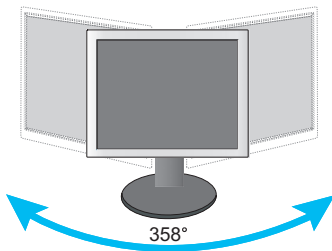
2. ディスプレイの前面を下向きにしてクッションまたは柔らかい布の上に置きます。

3. ケーブル装飾カバーをスライドしてスタンド本体から取り外します。

4. フックを内側に押し、スタンド本体からスタンド台を取り外します。

5. スタンド本体を軽く引っ張り、ヒンジ台座から離します。

- ディスプレイを設置する前に、ディスプレイ、コンピューター、およびその他の周辺機器の電源がオフになっていることを確認してください。

ディスプレイの設置

1. 最も快適に使用できるようにディスプレイの位置を調節します。
   - 傾斜角度：-5～20度

   - 回転：358°

人間工学上の注意

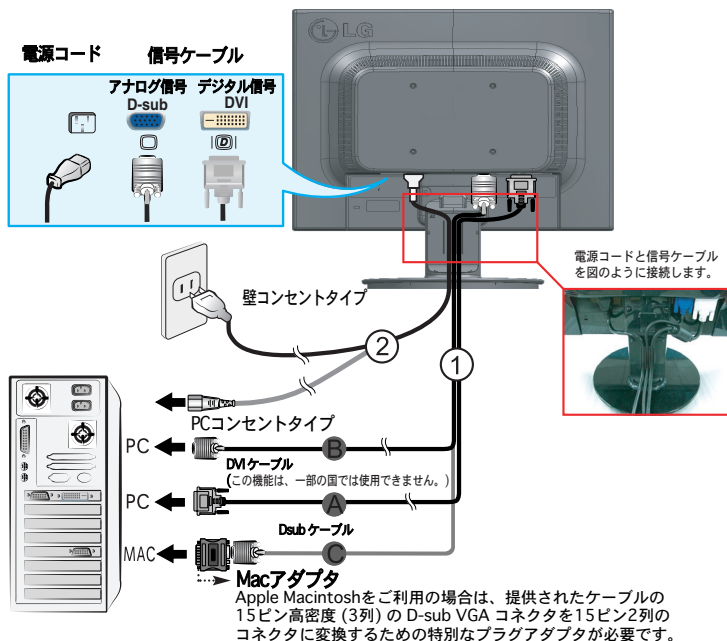
ディスプレイの傾斜角度-5~20度ですが、人間工学的にも快適な使用のためにも、ディスプレイの傾斜角度が 5 度をこえないようにすることをお勧めします。

コンピューターへの接続

1. コンピューターと本製品の電源を切ります。信号ケーブル ①、電源ケーブル ② の順に接続し、信号ケーブルのねじを締めます(図を参照)。

Ⓐ DVIケーブルを接続します。

Ⓑ Dsubケーブル（PC）を接続します。

Ⓒ Dsubケーブル（Mac）を接続します。

2. ケーブルカバーをスタンド本体へ正しい向きで挿入します。

3. フロント・スイッチ・パネルの ⏻ ボタンを押して電源をONにします。ディスプレイの電源が入ると '自動画像設定機能' が実行されます。
(アナログモードのみ)

注意

- 「自動画像設定機能」とは? : この機能はオプションのディスプレイ設定を提供します。ディスプレイを初めて接続したときに、この機能が自動的に動作して個々の入力信号に応じた最適のオプション設定にディスプレイを調節します。
- 「AUTO/SET機能」とは? : デバイスの使用中あるいは画面の解像度を変更後に、画面や文字がぼやけたり、画面がちらついたり、歪んだりするなどの問題が生じたら、この「AUTO/SET」ボタンを押すと解像度が改善されます。

フロントパネルのコントロール

コントロール	機能
ZOOMINGボタン	このディスプレイでは、'EZ ZOOMING' ボタンを押して、解像度を一段低い解像度に調節できます。このボタンをもう一度押すと、ディスプレイの解像度が元に戻ります。 *'EZ ZOOMING' ボタンを一度押すだけで、最適な解像度に調節され、コンピューターに不慣れな方にも適したサイズに文字や画像のサイズを変更できます。
	■ EZ ZOOMING 機能で利用可能な解像度は、次のとおりです。1680×1050、1440×900、1280×1024、1024×768、800×600です。 ■ 設定方法はOSやビデオカードによって異なります。必要に応じて、コンピューターまたはビデオカードのメーカーにお問い合わせください。
MENUボタン 	このボタンはオンスクリーンディスプレイ (OSD) の起動や終了に使用します。 ＜OSD のロック／ロック解除＞ この機能により現在のコントロールの設定をロックできるため、不注意に変更してしまうことがなくなります。 MENU(メニュー) ボタンを数秒間押し続けます。"OSD ロック" (OSDがロックされています)というメッセージが表示されます。 MENU(メニュー) ボタンを数秒間押し続けると、ロックを解除できます。その際に"OSD ロック解除"(OSDがアンロックされています)というメッセージが表示されます。

コントロールパネルの機能

	コントロール	機能
❸	**－＋ボタン**	このボタンで On Screen Display（オンスクリーンディスプレイ）の機能を選択し調節します。
	－ *f*·ENGINE	詳細はJ15ページ を参照してください。
	＋ SOURCE **SOURCE**（ソース） ホット·キー	このボタンを使用して、D-SubコネクタまたはDVIコネクタを使用可能な状態にします。この機能は、2つのコンピューターをディスプレイに接続するときに使用します。デフォルト設定はD-Subです。
❹	**AUTO/SET ボタン** 自 動 画 面 調 整 中	このボタンはオンスクリーンディスプレイで選択を行うときに使用します。 **< 自動画像調整 >** 表示設定を調整する場合は、まずAUTO/SETボタンを押してから、オンスクリーンディスプレイを起動してください。これにより、表示画像が現在の画面解像度（ディスプレイモード）に合う最適な設定に自動調整されます。 最良の表示モードは以下の設定です。 ·22 インチディスプレイ：**1680 x 1050**
❺	**電源ボタン**	このボタンは、ディスプレイの電源のオン／オフに使用します。
❻	**電源インジケーター**	このインジケーターは、ディスプレイが正常に動作しているときに青色に点灯します（オンモード）。 ディスプレイがスリープモード（省電力モード）のときは、表示色が黄色に変わります。

画面の調整

ディスプレイの画像の大きさ、位置、動作パラメータの調整は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) コントロールシステムを使用して、すばやく簡単に行うことができます。以下に各コントロールの使い方について説明します。次ページの表は、OSD を使用して実行できる選択と調整について簡単に表しています。

注意

■ 画像調整を行う際は30分以上通電してから行ってください。

OSDによる調整は、次の手順で行います。

MENU → - + → AUTO/SET → - + → MENU

1. **MENU** ボタンを押すと、OSDのメインメニューが表示されます。
2. 変更するコントロールを **-** ボタンまたは **+** ボタンで選択して変更するコントロールのアイコンがハイライトになったら、**AUTO/SET**ボタンを押します。
3. 変更するコントロールのレベル調節は **-**/**+** ボタンを押します。他のサブメニュー項目の選択は **AUTO/SET**ボタンを押して行います。
4. 他の機能を選択するには **MENU** ボタンを1度押し、メイン·メニューに戻ります。**MENU** ボタンを2 度押すと OSDが終了します。

次の表は、OSDを使用して実行できるコントロール、調整、および設定のメニューを簡単に表したものです。

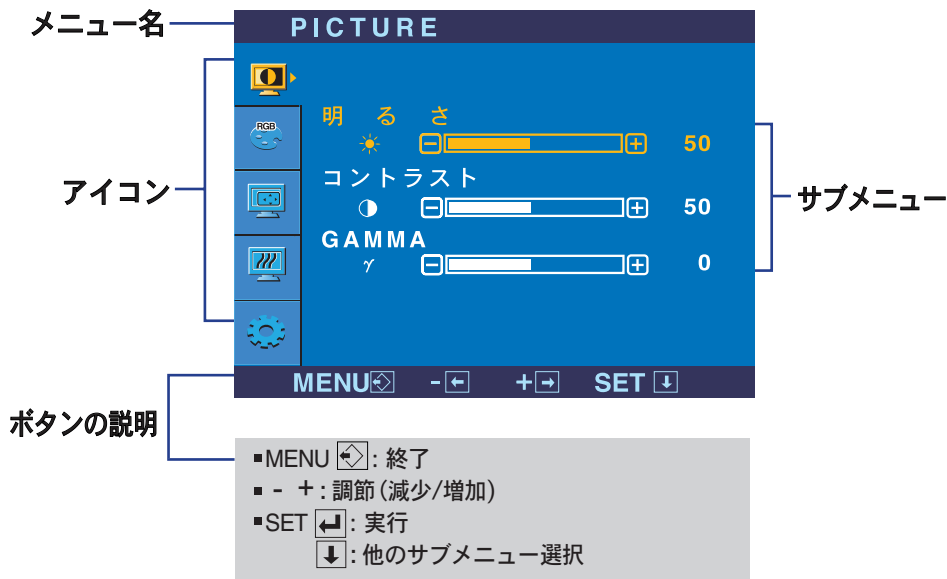
<table>
<tr><th>メインメニュー</th><th colspan="2">サブメニュー</th><th>A</th><th>D</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="3">PICTURE</td><td colspan="2">明るさ</td><td>●</td><td>●</td><td rowspan="3">画面の明るさとコントラストを調整します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">コントラスト</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">GAMMA</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td rowspan="6">カラー</td><td rowspan="3">プリセット</td><td>sRGB</td><td>●</td><td>●</td><td rowspan="6">画面の色をカスタマイズします。</td></tr>
<tr><td>6500K</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>9300K</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">赤</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">緑</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">青</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td rowspan="2">位置設定</td><td colspan="2">水平</td><td>●</td><td></td><td rowspan="2">画面の位置を調整します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">垂直</td><td>●</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">トラッキング</td><td colspan="2">周波数</td><td>●</td><td></td><td rowspan="3">周波数、画面の鮮明度と画質を調整します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">フェーズ</td><td>●</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">画質</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td rowspan="7">設定</td><td colspan="2">言語</td><td>●</td><td>●</td><td rowspan="7">ユーザーの操作環境に合わせて画面の状態をカスタマイズします。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">OSD
位置</td><td>水平</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td>垂直</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホワイト　バランス</td><td>●</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">電源インジケーター</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">リセット</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワイド 4:3</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td rowspan="3">FLATRON
F-ENGINE</td><td colspan="2">ムービー/テキスト</td><td>●</td><td>●</td><td rowspan="3">ユーザーの操作環境に合わせてイメージ設定を選択またはカスタマイズします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">モード</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="2">NORMAL</td><td>●</td><td>●</td></tr>
<tr><td colspan="6">●: 調整可
A:アナログ入力
D:デジタル入力</td></tr>
</table>

注意

- アイコンの順序は、モデルによって異なります (J10~J15ページ)。

オンスクリーンディスプレイ (OSD) による選択と調整

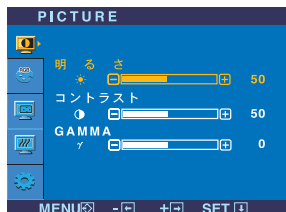
OSDによる選択と調整の手順について説明します。前ページの表に示した各項目のメニュー名、アイコンは次の図のように表示されます。

MENUボタンを押すと、OSD のメインメニューが表示されます。

注意

- ディスプレイ上に表示されるOSDメニューの言語は、本ユーザーズガイドの表記と異なることがあります。

メインメニュー	サブメニュー	説 明

PICTURE

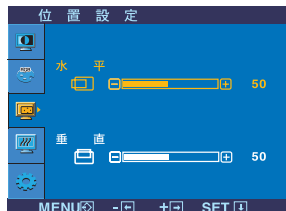
- **MENU** : 終了
- **－** : 減少
- **＋** : 増加
- **SET** : 他のサブメニュー選択

サブメニュー	説 明
明るさ	画面の明るさを調整します。
コントラスト	画面のコントラストを調整します。
GAMMA	-50/0/50でガンマ値を調整します。高いガンマ値にするとコントラストの弱い画像になり、低いガンマ値にするとコントラストの強い画像になります。

カ ラ ー

- **MENU** : 終了
- **－** : 減少
- **＋** : 増加
- **SET** : 他のサブメニュー選択

サブメニュー	説 明
プリセット	画面の色を選択します。 • sRGB: 画面の色を sRGB 標準色規格に合わせるように設定します。 • 6500K : 赤みがかったホワイトに設定します。 • 9300K : 青みがかったホワイトに設定します。
赤	個別に赤色レベルを設定します。
緑	個別に緑色レベルを設定します。
青	個別に青色レベルを設定します。

メインメニュー	サブメニュー	説 明

位置設定

サブメニュー	説 明
水 平	画像を左右に移動させせます。
垂 直	画像を上下に移動させせます。

- MENU : 終了
- – : 減少
- ＋ : 増加
- SET : 他のサブメニュー選択

トラッキング

サブメニュー	説 明
周 波 数	画面のバックグラウンドに表示できるすべての垂直バーまたは垂直ストライプを最小化します。水平画面のサイズも変更されます。
フェーズ	画面の焦点を調整します。この機能は、水平ノイズを取り除いて、文字画像を鮮明にします。
画質	画面の鮮明度を調整します。

- MENU : 終了
- – : 減少
- ＋ : 増加
- SET : 他のサブメニュー選択

オンスクリーンディスプレイ（OSD）による選択と調整

メインメニュー	サブメニュー	説 明
設　定	言語	コントロール名を表示する言語を選択します。
	OSD 位置	OSDウィンドウの位置を調整します。
	ホワイト バランス	ビデオ・カード出力が本製品の仕様と異なる場合合、ビデオ信号に歪みが生じてカラー・レベルが低下する可能性があります。この機能を用いると、ビデオ・カードが標準出力レベルに合うように信号レベルが調節され、最適画像が得られます。 スクリーンに白色や黒色が出る場合は、この機能を動作させてください。
	電源インジケータ	この機能は、ディスプレイの前面にある電源インジケーターのオン、オフを切り換えます。オフに設定すると、インジケーターは消灯します。（電源を入れた際には、15秒間インジケーターが点灯した後消灯します） オンに設定すると、電源インジケーターはいつでもすぐにオンになります。
	ワイド 4:3	画面の画像サイズを選択します。

設　定
言　語 ▶ 日 本 語
OSD 位置
水　平 50
垂　直 50
アナログ
1280 x 1024 60Hz
MENU　-　+　SET

設　定
ホワイト　バランス ▶ NO
電源インジケータ ▶ オン
ワイド 4:3 ▶ ワイド
リ セ ッ ト ▶ NO
アナログ
1280 x 1024 60Hz
MENU　-　+　SET

- MENU：終了
- －　：調節
- ＋　：調節
- SET：他のサブメニュー選択

ワイド

4:3

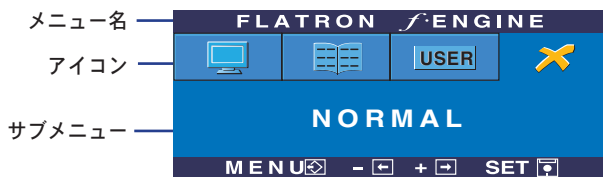
*4:3(画面縦横比)は、ビデオ入力信号の比率情報に応じて、最適な比率に自動的に変更されます。
(1280 x 1024 の入力信号は画面比 5:4 に変更され、1024 x 768 の入力信号は画面比 4:3 に変更されます。)

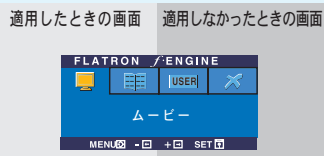
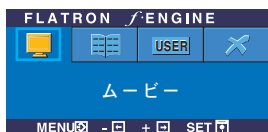
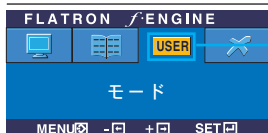
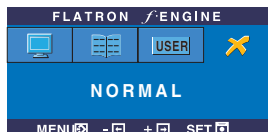
解像度	画面縦横比
1280x1024	5：4
1152x864	4：3
1024x768	4：3
800x600	4：3
640x480	4：3
720x480	3：2

* ワイド 4:3の4:3が対応していない入力信号は、以下のとおりです。
- 720 x 400、1280 x 768、1360 x 768、1680 x 1050
(22 インチディスプレイの場合)

サブメニュー	説 明
リセット	「工場出荷時の設定にすべて戻します。すぐにリセットするには、－ ボタンを押します。（「言語」は除く）

OSDを使用してもスクリーン画像が改善しない場合は、工場出荷状態に戻してください。
その後必要に応じて、上記のホワイト・バランス機能を動作させてください。
この機能は入力信号がアナログ信号のときに限り使用可能です。

■■■ モニター上の*f*·ENGINE(-) ボタンを押すと、OSD 画面が表示されます。

FLATRON F-ENGINE

F-ENGINEを実行すると、図のように画面上に2つのトーンが表示されます。適用したときの画面が左側に表示され、適用しなかったときの画面が右側に表示されます。
SET (設定) ボタンを押して、画面を調整します。

メインメニュー	サブメニュー	説 明
■ **MENU** : 終了 ■ **－ ＋** : 移動 ■ **SET** : 選択	**ムービー テキスト**	この機能によって、周囲の環境に合わせて輝度、コントラストおよび色値を最適に調整でき、周囲の環境に最も適した画面を表示できます (日中/夜/ユーザーモード)。 **ムービー:** ビデオまたは映画の動きのある画像用 **テキスト:** テキスト画像用(ワードプロセッサなど)
USERサブメニュー機能を調節するには、SET(設定)ボタンを押します。 ■ **MENU** : 終了 ■ **－** : 減少 ■ **＋** : 増加 ■ **SET** : 他のサブメニュー選択	**モード**	USER(ユーザー) 輝度、ACEまたはRCMを手動で調整できます。異なる環境設定を使用していても、調整した値を保存したり、元に戻したりできます。 ... ☀ (輝度): 画面の輝度を調整します。 ... ACE(Adaptive Clarity Enhancer): 明度モードを選択します。 ... RCM(Real Color Management): 色モードを選択します。 0 非適用 1 緑色強調 2 フレッシュトーン 3 色拡張 SET(設定)ボタンで SAVE サブメニューを選択し、－ボタンで YES を保存します。
	NORMAL	ノーマル（通常）のモードで動作します。

トラブルシューティング

サービスセンターに連絡する前に、次のことを確認してください。

画像が表示されない。	
●ディスプレイの電源コードが接続されていますか。	・電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうか確認してください。
●電源インジケーターが点灯していますか。	・電源ボタンを押してください。
●電源が入り、電源インジケーターが青色または緑色 に点灯していますか。	・明るさとコントラストを調整してください。
●電源インジケーターが黄色になっていませんか。	・ディスプレイが節電モードになっている場合は、マウスを動かすか、またはキーボードのいずれかのキーを押して画面を起動してください。 ・コンピューターの電源をオンにしてください。
●画面に“範囲超過”というメッセージが表示されていませんか。	・このメッセージは、コンピューター (ビデオカード)からの信号がディスプレイの水平または垂直の周波数レンジを超えた場合に表示されます。本ユーザーズガイドの「仕様」(J19~J20ページ)を参照し、ディスプレイを設定しなおしてください。
●画面に“チェックシグナルケーブル”と表示されていませんか。	・このメッセージは、コンピューターとディスプレイ間の信号ケーブルが接続されていない場合に表示されます。信号ケーブルが正しく接続されているかを確認して、もう一度試してください。

画面に“OSD ロック”というメッセージが表示されていますか。	
●MENUボタンを押すと“OSD ロック”というメッセージが表示されますか。	・“OSDロック” がかかっているときは現在のコントロールの設定を不注意に変更してしまうことがありません。 **MENU** ボタンを 5 秒間押し続けると **OSD** コントロールがアンロックされ、“**ロック解除**” というメッセージが表示されます。

表示画像が正しくない。(1)	
● 画像の表示位置が正しくない。	・AUTO/SETボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまくいかない場合は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)にある水平位置のアイコンや垂直位置のアイコンを使用して、画像位置を調整します。
● 画面のバックグラウンドに垂直バーや垂直ストライプが表示される。	・AUTO/SETボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまくいかない場合は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)にある「周波数」アイコンを使用して、垂直バーや垂直ストライプを小さくします。
● 画像や文字中に現れる水平ノイズが鮮明に表示されない。	・AUTO/SETボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまくいかない場合は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)にある「フェーズ」アイコンを使用して、水平バーを小さくします。 ・コントロールパネル --> 画面 --> 設定でディスプレイが推奨されている解像度に設定され、画面が適切に表示されていることを確認してください。色の設定は、24ビット(True Color)以上にしてください。

重要

■ コントロールパネル --> 画面 --> 設定で周波数と解像度が変更されていないか確認してください。変更されている場合、ビデオカードを推奨されている解像度に設定し直してください。

■ 最適な解像度を推奨する理由：縦横比は、16:10です。入力の解像度が16:10ではない(たとえば、16:9や5:4、4:3などの)ときは、 文字や画面がぼやけたり、画面表示が欠けたり、あるいは画面が傾くなどの問題が生じることがあります。

■ 設定方法は、コンピューターや OS (オペレーティングシステム)によって異なることがあります。また、推奨解像度はビデオカードによってはサポートされていないことがあります。このような場合は、コンピューターまたはビデオカードの製造元にお問い合わせください。

表示画像が正しくない。(2)	
● 画面の色が白黒または正常でない。	・信号ケーブルが正しく接続され、しっかりとねじで固定されているかどうか確認してください。 ・ビデオカードがスロットに正しく装着されているか確認してください。 ・画面の設定で、色を24ビット(True Color)以上に設定してください。
● 画面が点滅する。	・画面がインターレースモードに設定されているかどうか確認してください。その場合、推奨されている解像度に設定し直してください。

ディスプレイのドライバをインストールしていますか。	
● ディスプレイのドライバをインストールしていますか。	・付属のディスプレイドライバCD (またはフロッピーディスク) からディスプレイのドライバをインストールしてください。またWebサイhttp://www.lge.com からドライバをダウンロードすることもできます。
● “ディスプレイを認識できません 。Plug&Play (VESA DDC)モニターが検出されました”というメッセージが表示されていませんか。	・ビデオカードがプラグ&プレイ機能をサポートしているか確認してください。

仕 様

ディスプレイ	22インチ (55.8 cm) フラットパネルアクティブマトリックス-TFT LCD、Anti-Glareコーティング 22インチ表示可能 0.282*0.282 mmドットピッチ	
同期信号入力	水平周波数	アナログ: 30～83kHz (自動) デジタル: 30～83kHz (自動)
	垂直周波数	56～75Hz (自動)
	入力形態	セパレートTTL、ポジティブ/ネガティブ SOG (Sync On Green) デジタル(HDCP 対応)
ビデオ入力	信号入力	15ピンD-Subコネクタ DVI - D コネクタ (デジタル)
	入力形態	RGBアナログ (0.7Vp-p/75オーム)、デジタル
解像度	MAX	アナログ:VESA 1680 x 1050@60Hz デジタル:VESA 1680 x 1050@60Hz
	推奨	VESA 1680 x 1050@60Hz
プラグ&プレイ	DDC 2B	
電力消費量 (スピーカーなし)	オンモード スリープモード オフモード	: 45W(標準値) ≤ 1W ≤ 1W

外形寸法 (チルトスタンド付)		スタンド含む	スタンド含まず
	幅	50.78cm / 20.00インチ	50.78cm / 20.00インチ
	高さ	42.38cm / 16.69インチ	33.84cm / 13.32インチ
	奥行	23.00cm / 9.06インチ	5.47cm / 2.15インチ
	正味	5.30 kg (11.7 ポンド)	

スタンドの動作範囲	傾斜角度	-5° ～ 20°
回転範囲	回転	358°
入力電源	AC 100-240V~ 50/60Hz 1.0A	
環境条件	作業条件 温度 10°C ～ 35°C 湿度 10% ～ 80% 無結露	
	保管条件 温度 -20°C ～ 60°C 湿度 5% ～ 90% 無結露	
スタンド	独立 (O)	
電源コード	壁コンセントタイプまたはPCコンセントタイプ	

注意

- 本ユーザーズガイドの情報は、予告なしに変更することがあります。

プリセットモード (解像度)

	ディスプレイモード (解像度)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
1	720 x 400	31.468	70
2	640 x 480	31.469	60
3	640 x 480	37.500	75
4	800 x 600	37.879	60
5	800 x 600	46.875	75
6	1024 x 768	48.363	60
7	1024 x 768	60.123	75
8	1152 x 864	67.500	75
9	1280 x 1024	63.981	60
10	1280 x 1024	79.976	75
11	1680 x 1050	64.674	60
*12	1680 x 1050	65.290	60

* 推奨モード

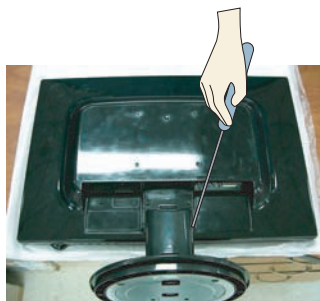
インジケーター

モード	LED 色
オンモード	青色
スリープモード	黄色
オフモード	オフ

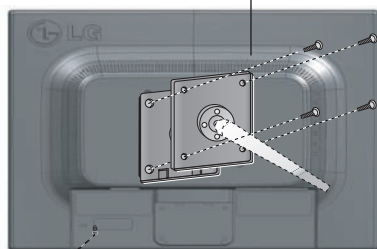
壁面取付プレートの設置

本製品は、壁面取付プレートまたは交換デバイスの仕様に対応しています。

1. モニターの前面を下向きにしてやわらかい布の上に置きます。

2. 図に示すように、ドライバーを使用してスタンドを分解します。

3. 壁面取付プレートを設置します。

壁面取付プレート(別売)

スタンドタイプまたは壁面取付タイプのプレートです。
詳細については、ご購入の壁面取付プレートに付属されているインストールガイドを参照してください。

Kensingtonセキュリティスロット

別売りのロックケーブルを接続できます。